



❖ 『テレワークを行う際のセキュリティ上の注意事項』を、IPA(独立行政法人情報処理推進機構)がホームページに公開 ❖

新型コロナウイルス感染症の影響により、ICTを用いて自宅でも業務が行えるような環境を整えて、社員等を出社させずに事業継続を図る動きが急速に進んでいます。このような環境で働くテレワーク勤務者に向けたセキュリティ上の注意事項をご案内します。

■ テレワークを行う際のセキュリティ上の注意事項

(1) 所属する組織や企業からテレワーク環境が提供されている場合

- テレワーク勤務者の方は、お使いのテレワーク環境に関して所属先が定めた規定やルールをよく理解し、それに従ってください。
- 不明な点等がある場合は自分で判断せず、まずは所属先のシステム管理者等に相談をしてください。
- 規定やルールとあわせて、お使いのパソコン等に対して<日常における情報セキュリティ対策>を実施してください。

(2) 所属する組織や企業からテレワーク環境が提供されていない場合

- 本格的なテレワーク環境が提供されておらず、自宅のパソコン等で業務に関わるメールの送受信や資料作成等を行う場合には、自身によるセキュリティ対策を強く意識する必要があります。自分はITにそれほど詳しくない、相談できるシステム管理者がいない、等の状況にある方は、普段使っている個人環境のセキュリティ対策を見直すことから始めてください。
- そのために、以下の<日常における情報セキュリティ対策>を確認し実施してください。

1. 修正プログラムの適用
2. セキュリティソフトの導入および定義ファイルの最新化
3. パスワードの適切な設定と管理
4. 不審なメールに注意
5. USBメモリ等の取り扱いの注意
6. 社内ネットワークへの機器接続ルールの遵守
7. ソフトウェアをインストールする際の注意
8. パソコン等の画面ロック機能の設定

(3) テレワーク時に特に気をつけるべき注意事項

上記 (1)(2) に共通して、情報漏えいの防止の観点で、テレワーク時に特に気をつけるべき注意事項を以下に挙げます。

● テレワークを始める前に

- テレワークで使用するパソコン等は、できる限り他人と共有して使わないようにしてください。共有で使わざるを得ない場合は、業務用のユーザーアカウントを別途作成してください。
- ウェブ会議のサービス等を新たに使い始める際は、事前にそのサービス等の初期設定の内容を確認してください。特にセキュリティ機能は積極的に活用してください。

● 自宅で行う場合

- 自宅のルーターは、メーカーのサイトを確認のうえ、最新のファームウェアを適用(ソフトウェア更新) してください。

● 公共の場で行う場合

- カフェ等の公共の場所でパソコン等を使用するときはパソコンの画面をのぞかれないように注意してください。
- 公共の場でウェブ会議を行う場合は、話し声が他の人に聞こえないように注意してください。
- 公衆Wi-Fiを利用する場合は、パソコンのファイル共有機能をオフにしてください。
- 公衆Wi-Fiを利用する場合は、必要に応じて信頼できるVPNサービスを利用してください。
- デジタルデータ/ファイルだけではなく、紙の書類等の管理にも注意してください。

出典：IPA（独立行政法人情報処理推進機構）ホームページ





赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

VOL.30

5月になりました。4月は朝晩少し肌寒く感じる日々が続いていましたが、最近は暖かいどころか「暑く」感じる日がほとんどになってきました。夏の訪れを肌で感じる季節になってきましたね。例年ですとGW中に旅行したり、色々なところに出かけたりと楽しい5月前半ですが、今年は新型コロナウイルス拡散防止のため外出を控えた方が多かったと思います。いわゆる「ステイホーム」のGWでしたが、皆様はどのように過ごされたでしょうか？

4月20日以降、香川県における新型コロナウイルス新規感染判明者は出ておらず、緊急事態宣言は解除され感染警戒宣言へと警戒レベルが下がりました。少しずつではありますが以前の日常へと向かっている今日この頃です。ただし、ここまで2か月以上新型コロナウイルス感染拡大防止に注力して生活した日々のスタイルが急に変わるかというとなかなか難しいかなと思います。ほとんどの方がマスク着用し、お店の出入り口には入店時のアルコール消毒のお願いが表示され、仕事における不要不急な打ち合わせや会合はZOOM・TEAMSなどのオンラインミーティングソフトを使って実施されています。仕事などで東京や大阪の会社とお取引されている方は感じていらっしゃると思いますが、いわゆる「都会」の方とこちらの方では感染拡大の意識や対策方法がかなり違います。これからは少しずつ通りに戻って県をまたぐ人の往来が増えると思いますが、それにより第2波・第3波の感染が危惧されています。メディアでも報じられていますが、これからは「アフターコロナ」ではなく「withコロナ」の環境でどのように生活や仕事を進めていくかに焦点が当てられています。3月・4月のような状況が今後発生しないとは限りませんし、ワクチンの開発がいつになるかも分かりません。コロナがインフルエンザのような「治る流行り病」のレベルになるまでは感染拡大防止の意識を持ち続け、それに応じた生活・仕事を進めていくような対応をするように変化しなければなりません。まだまだ我慢の時期は続くと思いますが「変化に対応する」これしかないと感じています。

あと2週間で6月です。なんと、2020年の半分が終わってしまいます（当たり前ですが^^;）。新型コロナウイルスの感染拡大で年初に立てた計画や目標がなかなか前に進まないのが現状だと思います。ここは気分を一新して「withコロナ」バージョンでもう一度計画や目標の見直しをして2020年を前向きに進んでいく指針を立てる時期でもあります。色々な現実でつぶされそうになる時もありますが、未来を信じて前向きに行動しましょう！

IT用語

知っておいて損はしない！かも・・・

■ テレワーク ■

テレワークとは、情報通信技術（ICT=Information and Communication Technology）を活用して、時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働くことができる形態のことを指します。

『tele=離れた場所』・『work=働く』という意味の単語を合わせた造語です。

テレワークは働く場所によって、在宅勤務（自宅利用型テレワーク）・モバイルワーク・サテライトオフィス勤務（施設利用型勤務）の3種類に分類することができます。

新型コロナウイルスの感染対策などから、既にテレワークを導入している企業や、これから導入を考えている企業もあると思います。情報漏えいやサイバー攻撃などのリスクが高まることも考えられるので、導入前に企業内のセキュリティ対策を万全に整えておくことは非常に重要となります。



弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております！
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧頂ければと思います!!!
対策は早目にしましょう！